

教員業績（2021年1月～12月）

| | |
|-----|--|
| 雑誌名 | 日本赤十字九州国際看護大学紀要 = Bulletin of the Japanese Red Cross Kyushu International College of Nursing |
| 巻 | 20 |
| ページ | 29-48 |
| 発行年 | 2022-03-31 |
| URL | http://id.nii.ac.jp/1127/00000788/ |

<リベラルアーツ・専門基礎>

教授 伊藤 明子

【著書】

伊藤明子：一期一会の看護を大切に。日本看護協会出版会編集部：新型コロナウイルス ナースたちの現場レポート。119-126, 日本看護協会出版会, 2021.

教授 守山 正樹

【著書】

守山正樹：手で考える公衆衛生学；Covid-19 禍のもとでのオンライン授業。NPO 法人ウェルビーイング, pp1-100, 2021. <http://id.nii.ac.jp/1127/00000729/>

【論文】

守山正樹：統計学の本質に立ち返り身体化して学ぶ：新型コロナウイルス禍の下での遠隔教育の試み。日本赤十字九州国際看護大学紀要, 19：17-26, 2021. <http://doi.org/10.15019/00000735>

Moriyama M. & Mock J. : Touch Deeply : A new educational approach for teaching nursing students about their humanity and the art of caring before and during the COVID-19 pandemic. Bulletin of the Japanese Red Cross Kyushu International College of Nursing, 19: 37-46, 2021. <http://doi.org/10.15019/00000736>

【その他】

守山正樹：コロナ禍の今、私たちにとって大切なこと。感性と対話 4(1): 39-46, 2021.

【社会活動】

NPO 法人ウェルビーイング理事、
NPO 法人ウェルビーイング付属研究所主任研究員

【国際活動】

JICA 地域保健向上のための保健人材強化・講師' & ファシリテーター 2016～2021
ベトナム、ナムディン看護大学集中講義 2016～2021

教授 柳井 圭子

【著書】

野崎和義, 柳井圭子：看護のための法学（第5版）。京都, ミネルヴァ書房, 2021.

【論文】

Tsunematsu, K., Fukumoto, Y., Yanai, K.: Ethical Issues Encountered by Forensic Psychiatric Nurses in Japan. Journal of Forensic Nursing, 17(3): 163-172, 2021.

【学会発表】

柳井圭子：北米での「死亡調查看護師」の活動と倫理的責務、第14回日本看護倫理学会、(オンライン開催), 2021.

柳井圭子：イギリスにおける看護基礎教育の鍵となる「safeguard」, 第8回日本フォレンジック看護学会大会（オンライン開催）, 2021.

【研究助成獲得】

2021-2023 年科学研究費（基盤研究 C）：大規模災害時の死体検案補助の人材育成と公衆衛生看護による遺族ケアの連携（研究分担者）

【学会活動】

日本フォレンジック看護学会 理事
日本フォレンジック看護学会 SANE 認定試験委員
九州医学哲学・倫理学会 運営委員
日本フォレンジック看護学会学会誌査読委員
九州医学哲学・倫理学会学会誌査読委員

【学外委員会活動】

X 施設内倫理委員会委員
X 県情報公開審査会委員

教授 高瀬 文広

【国際活動】

JICA 研修事業（コースリーダー）, 2019 ～現在に至る
イリノイ大学（アメリカ合衆国）協定校締結記念事業, 2020 ～現在に至る
ディポネゴロ大学（インドネシア）での Visiting Professor 講演, 2021
The Society for Teaching English through Media 学会（大韓民国）の Editorial Committee Member, 2010 ～現在に至る

講師 木村 涼平

【論文】

大重 育美, 山口 多恵, 中島 充代, 飛奈 卓郎, 木村 涼平, 永松 美雪, 倉岡 有美子: 妊娠期における 16 時間交代制看護師の睡眠と疲労と身体活動強度の実態, 日本看護管理学会誌, 25(1): 262-271, 2021.

Narumi Ooshige, Tae Yamagushi, Mitsuyo Nakashima, Ryohei Kimura, Takuro Tobina, Miyuki Nagamatsu, Yumiko Kuraoka (2021) A Comparison of Fatigue, Level of Physical Activity, and Sleep Quality in Pregnant and Non-Pregnant Nurses Working 16-Hour Shifts in Japan. Int J Nurs Clin Pract.8:344

上田智之, 下條三和, 坂本貴子, 木村涼平, 緒方浩志, 山口恭平, 吉原駿: 精神科看護師における職務継続意思評価尺度の開発に向けた予備調査-職務継続意思に影響する構成因子の検討-, 精神科看護, 48(10): 50-57, 2021.

【学会発表】

木村涼平, 緒方浩志, 上田智之, 増満誠, 森雄太: 看護学生を対象とした脳活動の調査手法の検討-被災者の脳に与える災害の長期的影響に関する研究の予備調査-, 日本精神保健看護学会第 31 回学術集会・総会, 山形, 2021.

緒方浩志, 木村涼平, 上田智之, 増満誠, 森雄太: 看護学生を対象とした自律神経系活性の調査方法の検討-被災者の自律神経系活性に与える災害の長期的影響に関する研究の予備調査-, 日本精神保健看護学会第 31 回学術集会・総会, 山形, 2021.

木村涼平, 大重育美, 山口多恵, 中島充代, 永松美雪, 倉岡有紀子: 子どもを養育している看護師の生理学的指標を用いた睡眠の状況に関する実態, 第 41 回日本看護科学学会学術集会, 愛知, 2021.

大重育美, 山口多恵, 中島充代, 木村涼平, 永松美雪, 倉岡有美子: 妊娠中期の交代性看護師を対象とした睡眠の質と蓄積的疲労と身体活動強度, 第 41 回日本看護科学学会学術集会, 愛知, 2021.

【研究助成獲得】

2021-2023 年度 科学研究費補助金 基盤研究(C)
脳活動のモニタリングと集団認知行動療法を融合した児童虐待防止プログラムの開発
研究代表者: 木村涼平

2020-2022 年度 科学研究費補助金 基盤研究(C)
仮設住宅を退去した被災者の生理学及び心理学的影響と回復を促す集団プログラムの開発
研究分担者 (研究代表者: 緒方浩志)

2019-2023 年度 科学研究費補助金 基盤研究(C)
妊娠期の交代制勤務看護職の睡眠健康プログラムの開発
研究分担者 (研究代表者: 大重育美)

【社会活動】

独立行政法人国立病院機構九州医療センター 客員臨床研究員 (2018 年～)

【国際活動】

NPO 法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡 BRIDGE KIDS PROGRAMS 2021 医療部会長

< 看護の基盤 >

教授 本田 多美枝

【著書】

本田多美枝: COLUMN ショーンの省察的実践. pp.585-589. 黒田裕子監修: 看護診断のためのよくわかる中範囲理論 (第 3 版). Gakken, 2021.

【学会発表等】

本田多美枝, 福田美和子, 高堂香菜子: 実践-省察-共同思考を中核とした支援プログラムに参加した看護管理者の省察的実践自己評価の変化, 第 41 回日本看護科学学会学術集会 (Web 開催), 2021 年 12 月 4 日～12 月 5 日.

【研究活動 (競争的研究資金の獲得)】

福田美和子 (研究代表): リフレクティブコミュニティを基盤としたクリティカルケア看護実践支援モデルの開発、平成 30～令和 3 年度基盤研究 (C) 研究分担者

小手川良江（研究代表）：中堅看護師のレジリエンスを引き出す支援モデルの構築、平成 30～令和 3 年度基盤研究（C） 研究分担者

【社会活動】

日本看護学教育学会 専任査読委員（2009 年－2018、2020 年－2021 年）

日本赤十字看護学会 専任査読委員（2004 年－2012 年、2018 年－現在に至る）

教授 倉岡 有美子

【論文】

倉岡有美子：病院における新型コロナウイルス感染症患者受け入れ体制の構築・運用プロセス—看護師長の視点から—。日本看護科学会誌，41：467－475，2021.

倉岡有美子：A 県看護協会認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講中に看護師長が実践への活用に向けて振り返った内容。日本医療・病院管理学会誌，58(2)：50-56，2021.

倉岡有美子,大重育美,姫野稔子,高橋清美：学士課程における卒業前の看護技術演習に関する実践報告 シミュレーション学習に OSCE を連動させて。日本赤十字看護学会，21(1)：81-87，2021.

佐々木菜名代，井部俊子，倉岡有美子，笠松由佳，澤邊綾子，武村雪絵，吉田千文，手島恵：コンピテンシーを基盤とした看護管理者研修プログラムの評価（第二報）。日本看護管理学会誌，25（1）：225－235，2021.

Narumi Ooshige, Tae Yamaguchi, Mitsuyo Nakashima, Ryohei Kimura, Takuro Tobina, Miyuki Nagamatsu, Yumiko Kuraoka : A Comparison of Fatigue, Level of Physical Activity, and Sleep Quality in Pregnant and Non-Pregnant Nurses Working 16-Hour Night Shifts in Japan. International Journal of Nursing & Clinical Practices, 8, 2021.

大重育美，山口多恵，中島充代，飛奈卓郎，木村涼平，永松美雪，倉岡有美子：妊娠期における 16 時間交代制看護師の睡眠と疲労と身体活動強度の実態。日本看護管理学会誌，25(1)：262－271，2021.

【学会発表】

倉岡有美子：看護師長を対象とする看護管理研修と実践をつなぐ学習プログラムの効果。第 25 回日本看護管理学会学術集会，2021 年 8 月

倉岡有美子：病院での Covid-19 患者受け入れ体制の構築・運用プロセスと看護師長が直面した困難。第 25 回日本看護管理学会学術集会，2021 年 8 月

【研究活動（競争的研究資金の獲得）】

科学研究費補助金（基盤研究（C） 2019 年 4 月～2022 年 3 月

研究課題：看護師長を対象とするマネジメント理論と経験を結びつける学習プログラムの開発と評価
助成金：4,290,000 円 研究代表者：倉岡有美子

【社会活動】

日本看護科学学会（2019 年-2023 年 和文誌専任査読委員）

福岡県宗像・遠賀保健所結核の診査に関する専門部会委員（2019年-現在）

福岡県看護協会 認定看護管理者ファーストレベルプログラム
講師：「組織管理論Ⅰ」（2019年-現在）

福岡県看護協会 認定看護管理者サードレベルプログラム
講師：「組織管理論Ⅲ」「人材管理Ⅲ」（2019年-現在）

日本赤十字社幹部看護師研修センター 認定看護管理者セカンドレベルプログラム
講師：「組織管理論Ⅱ」（2020年-現在）
同 認定看護管理者ファーストレベルプログラム
講師：「組織管理論Ⅰ」（2021年-現在）

大阪府看護協会 認定看護管理者サードレベルプログラム
講師：「特別講義・政策提言」（2020年-現在）

長崎県看護協会 認定看護管理者セカンドレベルプログラム
講師：「組織管理論Ⅱ」（2021年-現在）

以下の施設にて看護管理研修

赤十字病院九州ブロック看護部長会(2021年)、福岡和白病院(カマチグループ)(2019年-現在)、産業医科大学病院（2020年-現在）、石川県看護協会（2019年-現在）、福岡県看護協会（一般研修：組織変革）（2020年-現在）、山口県認定看護管理者の会（2021年度）

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 研究学習会講師（2021年）

第21回福岡県看護学会シンポジウム コーディネーター（2021年）

聖路加国際大学 認定看護師教育課程 講師「実践家のリーダーシップ」（2010年-現在）

【国際活動】

JICA「地域保健向上のための保健人材強化」コース 講師「日本の医療制度と医療機関」（2018年-現在）

准教授 阿部 オリエ

【論文】

阿部オリエ：成人看護学（急性期）実習における看護系大学生の看護上の判断力育成に向けた臨地実習指導者の関わりのプロセス - 「ケア実施に伴う決定」に着目して-，日本赤十字看護学会誌，22（1）：29-40，2021.

【国際活動】

2021年3月～：2020年度 JICA 課題別研修「地域保健向上のための保健人材強化」研修プロジェクトにて「日本の看護人材育成/確保」について講義

講師 小手川 良江

【競争的外部資金】

2018-2021 年度 科学研究費助成金 基盤 C

研究課題：中堅看護師のレジリエンスを引き出す支援モデルの構築

助成金：3,250,000 円

研究代表者：小手川良江

助教 高堂 香菜子

【学会発表】

本田多美枝, 福田美和子, 高堂香菜子：実践 - 省察 - 共同思考を中核とした支援プログラムに参加した看護管理者の省察的実践自己評価の変化. 第 41 回日本看護科学学会学術集会 (Web 開催), 2021 年 11 月 19 日～2021 年 12 月 28 日.

助手 福本 優子

【論文】

Tsunematsu Kayoko, Fukumoto Yuko, Yanai Keiko: Ethical Issues Encountered by Forensic Psychiatric Nurses in Japan. Journal of Forensic Nursing, 17(3): 163-172, 2021.

< 成育看護 >

教授 永松 美雪

【論文】

大重育美, 山口多恵, 中島充代, 飛奈卓郎, 木村涼平, 永松美雪, 倉岡有美子：妊娠期における 16 時間交代制看護師の睡眠と疲労と身体活動強化の実態. 日本看護管理学会誌, 25 : 262-271, 2021.

園田希, 牧野翔太, 棚橋美智子, 大和寿美, 新名美佳, 大重育美, 永松美雪：宗像市と NPO 法人むなかた子育てネットワーク「こねっと」と連携した地域での子育て支援活動：母性看護学の教員による育児相談会. 日本赤十字九州国際看護大学紀要, 19 : 1-6, 2021.

Miyuki Nagamatsu, Narumi Ooshige, Nozomi Sonoda, Mika Niina, Ken-ichi Hara : Development of a Program to Prevent Sexual Violence among Teens in Japan: Education Using DVD Video Teaching Materials and Web-Based Learning. Environmental Health and Preventive Medicine, 26(1): 2021. Open Access doi: 10.1186/s12199-021-00964-y.

森本眞寿代, 高守史子, 坂井由美, 川口淳, 永松美雪：母親の出産施設「退院後早期の育児不安」の概念分析. 西九州大学看護学部紀要, 2 : 1-9, 2021.

永松美雪, 大重育美, 石山さゆり, 園田希, 新名美佳, 原健一：性暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像教材の評価. 思春期学, 39(1) : 151-165, 2021

【国際学会】

Miyuki Nagamatsu, Narumi Ooshige, Sayuri Ishiyawa, Nozomi Sonoda, Mika Niina, Ken-ichi Hara: Developing video teaching materials to prevent sexual violence un Japan. The 32st International

Confederation of Midwives Triennial Congress, 2021.

Masayo Morimoto, Ayako Takamori, Yumi Sakai, Miyuki Nagamatsu: Review of Japanese literature on scales for child-rearing anxiety and parenting stress. The 32st International Confederation of Midwives Triennial Congress, 2021.

【競争的外部資金】

令和3年～令和6年度 科学研究費助成金 基盤C

小学生向け性暴力予防学習の開発と評価

研究代表者: 永松美雪

助成金額: 4,290,000 円

平成29年度～令和3年度 科学研究費助成金 基盤C

10代の若者向け暴力の加害者・被害者を予防するeラーニングとDVD映像教材の開発

研究代表者: 永松美雪

助成金額: 4,550,000 円

【国際活動】

2021年 JICA「保健人材開発—地方村落における地域保健」コースにて “Midwifery education in Japan” 講義

准教授 石山 さゆり

【社会活動】

福岡県看護協会 副会長（令和元年～現在に至る）

福岡県看護協会 常任理事（令和元年～現在に至る）

福岡県性衛生学会 副会長（令和元年～現在に至る）

福岡県看護政策懇話会委員（令和元年～現在に至る）

福岡県要保護児童対策地域協議会委員（令和元年～現在に至る）

福岡県性暴力対策検討会議委員（令和元年～現在に至る）

福岡県医療団体協議会理事（令和元年～現在に至る）

ふくおか出会い・子育て応援協議会委員（令和元年～現在に至る）

北九州市小児慢性特定疾患対策協議会委員（令和2年～現在に至る）

宗像市男女共同参画推進懇談会 会長（H28～現在に至る）

宗像市防災会議委員（H27～現在に至る）

講師 園田 希

【論文】

Miyuki Nagamatsu, Narumi Ooshige, Nozomi Sonoda, Mika Niina, Ken-ichi Hara. Development of a program to prevent sexual violence among teens in Japan: education using DVD video teaching materials and web-based learning. BMC Environmental Health and Preventive Medicine, 26(1), 2021.

園田希, 牧野翔太, 棚橋美智子, 大和寿美, 新名美佳, 大重育美, 永松美雪. 宗像市とNPO法人むなかた子育てネットワーク「こねっと」と連携した地域での子育て支援活動: 母性看護学の教員による育児相談会. 日本赤十字九州国際看護大学紀要, 19: 1-6, 2021.

園田希, 高畑香織, 堀内成子. 乳児との対面接触による妊婦の対児感情と不安への効果: ランダム化比較試験. 日本看護科学学会誌, 41: 449-457, 2021.

【学会発表】

園田希, 松中枝理子, 宇都宮真由子, 隈井寛子, 橋本真貴子, 大重育美. 新型コロナウイルス感染症流行下で幼児を養育する父親・母親の日常生活の実態. 第36回日本助産学会学術集会, 2021.

橋本真貴子, 園田希, 福田陽子. COVID-19 流行下での技術演習への新たな挑戦: オンデマンド教材の作成と評価. 第36回日本助産学会学術集会, 2021.

坂本希世, 長田雅子, 岡美雪, 園田希, 五十嵐ゆかり. 予期せぬ妊娠により人工妊娠中絶を選択する女性に関する文献の検討. 第36回日本助産学会学術集会, 2021.

【研究助成】

科学研究費助成金 若手研究 2019年4月～2022年3月

研究課題: 胎児への愛着を促進する「Mama's Touch プログラム」の効果検証

助成金: 4,160,000円 研究代表者: 園田希

【査読】

BMC Pregnancy and Childbirth

Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry

【社会活動】

2021年12月～ 公益社団法人日本看護科学学会「看護ケアのための高齢者の便秘児の大腸貯留アセスメントに関する診療ガイドライン」SRチーム

2021年7月～ 公益社団法人全国助産師教育協議会 組織強化委員会

2021年4月～ 一般社団法人日本助産学会 専任査読者

2021年3月～ 一般社団法人日本助産学会 助産ガイドライン解説版ワーキンググループ

講師 松中 枝理子

【論文】

松中枝理子: 思春期の口唇裂・口蓋裂患者を育てる保護者の親子を取り巻く環境への関わり 手術への意思決定を行う際に焦点をあてて. 小児保健研究, 80(4): 519-526, 2021.

Niinomi, N., Ueki, S., Fujita, U., Kitao, M., Matsunaka, E., Kumagai, Y., Ike, M.: Differences in specific concerns perceived by parents of children with cleft lip and/or palate based on the types of cleft. International Journal of Paediatric Dentistry, 2021. doi: 10.1111/ipd.12886

Ueki, S., Matsunaka, E., Takao, K., Kitao, M., Fukui, M., Fujita, Y.: The effectiveness of vibratory stimulation in reducing pain in children receiving vaccine injection: A randomized controlled trial. Vaccine, 39(15): 2080-2087, 2021. doi: 10.1016/j.vaccine.2021.03.013

【その他】

令和2年度～3年度 日本赤十字九州国際看護大学奨励研究費

COVID-19 流行下における幼児の保護者の日常生活とメンタルヘルスへの影響要因に関する Mixed Method

研究代表者：松中 枝理子 助成金額：491 千円

助教 東 優里子

【学会発表】

東優里子, 大重育美：本邦における低出生体重児の在宅移行の場面に関わる共同意思決定（SDM）の実践に関する文献検討. 第 41 回日本看護科学学会学術集会, 愛知（オンライン）, 2021.

【研究活動（競争的研究資金の獲得）】

科学研究費助成金 基盤研究（C）2021 年 4 月～2025 年 3 月

研究課題：低出生体重児の在宅移行を支える SDM 支援システム構築に向けた基礎的研究

助成金額：4,160,000 円

研究代表者：東優里子

< 老年・慢性看護 >

教授 中村 光江

【著書】

中村光江：保存期の延長、慢性腎臓病とがん. 日本腎不全看護学会編. 慢性腎臓病看護 第 6 版. 所収 (pp. 210-215), 医学書院, 2021.

【学会発表】

西山陽子, 鈴鹿綾子, 山本孝治, 中村光江：事例研究を対象とした透析見合わせの意思決定に関する文献検討. 第 24 回日本腎不全看護学会学術集会（示説）, 福岡市, 2021.

鈴鹿綾子, 山本孝治, 西山陽子, 中村光江：慢性看護実習におけるオンラインと学内演習ハイブリッド型実習の試み, 第 22 回日本赤十字看護学術集会（示説）, 愛知県, 2021.

【社会活動】

（講演）

2021 年 11 月 第 24 回日本腎不全看護学会学術集会 大会長講演 「慢性性と緩和ケアを考える～腎臓病と生きる人とともに～」

（学術集会委員）

2021 第 24 回日本腎不全看護学会学術集会（福岡市）大会長

（専任査読者）

2017 年 - 2021 年 日本赤十字看護学会 専任査読者 和文・英文

教授 姫野 稔子

【論文】

姫野稔子：フットケアと転倒予防 - 足部から見る転倒リスク評価 - . 日本看護評価学会, 11(1) : 62 - 66, 2021.

倉岡有美子, 大重育美, 姫野稔子, 高橋清美：学士課程における卒業前の看護技術演習に関する実践報告—シミュレーション学修に OSCE を連動させて— . 日本赤十字看護学会誌, 21(1) : 81 - 87, 2021.

山本孝治, 大重育美, 苑田裕樹, 福島綾子, 姫野稔子, 高橋清美, 田村やよひ：災害拠点病院のない地域における ARCS モデルに基づく災害看護研修の試み. 日本赤十字看護学会誌, 21(1) : 74 - 80, 2021.

黒田裕美, 大重育美, 菅原直子, 北條智子, 有安直貴, 姫野稔子, 高橋清美, 田村やよひ：熊本地震被災地域にある医療施設に勤務する看護師の心的外傷性ストレス障害の実態. 日本赤十字看護学会誌, 21(1) : 1 - 9, 2021.

【学会発表】

姫野稔子：フットケアと転倒予防 - 足部から見る転倒リスク評価 - 転倒予防のための足づくりと評価. 第 11 回日本看護評価学会学術集会シンポジウム, オンライン, 2021.

酒井久美子, 姫野稔子：寝たきり非経口摂取高齢者に対する口腔ケア効果の一例. 第 41 回日本看護科学学会学術集会（示説）, オンライン, 2021.

【研究助成金の獲得】

平成 31 年度～令和 3 年度 科学研究費補助金 基盤研究 C
虚弱高齢者に対する口腔ケアモデルの作成
研究代表者：酒井久美子 研究分担者：姫野稔子 助成金額：2,860,000 円

【社会活動】

宗像市・福津市介護認定審査委員(2009～)
今津赤十字病院研究発表会 講評者 (2013～)
宗像市介護保険運営協議会委員 (2019～)
岡垣町国民健康保険運営協議会委員 (2019～)
九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会 理事 (2021～)

【学会関連】

ヒューマンケア研究学会 査読委員 2019～

准教授 原田 紀美枝

【論文】

Kako, J., Ito, Y., Kajiwara, K., Kimura, Y., Kakeda, K., Hamanishi, S.,

Sasaki,S.,Yamanaka,M.,Kiyohara,H.,Wakiguchi,Y.,Endo,Y. ,Harada,K.,et al. : Impact of the COVID-19 pandemic on mental health of nursing students in Japan: protocol for a cross sectional study. *BMJ Open*, 11: e055916. 2021. doi:10.1136/bmjopen-2021-055916

准教授 梶原 弘平

【論文】

Kako, J., Ito, Y., Kajiwara, K., Kimura,Y., Kakeda,K.,Hamanishi, S., Sasaki,S.,Yamanaka,M.,Kiyohara,H.,Wakiguchi,Y.,Endo,Y. ,Harada,K.,et al. : Impact of the COVID-19 pandemic on mental health of nursing students in Japan: protocol for a cross sectional study. *BMJ Open*, 11: e055916. 2021. doi:10.1136/bmjopen-2021-055916

Kako, J., Ito, Y., Kajiwara, K., et al. : Impact of the COVID-19 pandemic on mental health of nursing students in Japan: protocol for a cross sectional study. *BMJ Open*, 11: e055916. 2021. doi:10.1136/bmjopen-2021-055916

Kajiwara, K., Kako, J., Kobayashi, M., Noto, H., Ogata, A. : Caregiver bereavement outcomes in advanced cancer: associations with quality of death and patient age. *Supportive Care in Cancer*, 2021. doi: 10.1007/s00520-021-06664-1

能登裕子,梶原弘平,山中真 : 加齢に伴う身体感覚の変化・運動機能と転倒経験. *国際ナースリサーチ*, 20(3):19-28, 2021.

Kajiwara, K., Kako, J., Kobayashi, M., Noto, H., Ogata, A. : Measuring positive caregiving experiences in family caregivers of nursing home residents. *Geriatrics & gerontology international* , 21(9): 875-876, 2021.

Kobayashi, M., Kako, J., Kajiwara, K., Ogata, A. : Response to “Occupational rehabilitation of male breast cancer patients: Return patterns, motives, experiences, and implications—A qualitative study.” *European Journal of Cancer Care*, 30(4): e13445, 2021.

Kobayashi, M., Kako, J., Kajiwara, K., Ogata, A. : The effects of curative-intent cancer therapy on employment, work ability, and work limitations. *Cancer*, 127(16):3031-3032, 2021.

Zhang, HF., Jiang, QH., Huang, GY., Kako, J., Kajiwara, K., Lyu, JX., Miyashita, M. : The Educational Program for Healthcare Providers Regarding Fertility Preservation for Cancer Patients: a Systematic Review. *Journal of cancer education*, 36(3): 452-462, 2021.

Wakiguchi, Y., Kiyohara, H., Kako, J., Kajiwara, K., Kobayashi, M. : Response to Brungardt et al.: Virtual Reality-Based Music Therapy in Palliative Care: A Pilot Implementation Trial. *Journal of palliative medicine*, 24(5):653, 2021.

Kajiwara, K. Noto, H., Mantani, A., Iwasaki, Y., Nutaba, S., Kako, J., Miyashita, M. : Association Between Subjective Caregiver Burden and Heart Rate Identified Using Wearable Sensors Among Informal Caregivers of People with Dementia. *国際ナースリサーチ*, 20(2): 51-60, 2021.

Kajiwara, K., Kako, J., Noto, H., Oosono, Y., Kobayashi, M. : The Potential for the Internet and Telehealth in Caregiver Support. Comment on "Using Technology to Facilitate Fidelity Assessments: The Tele-STAR Caregiver Intervention". Journal of medical Internet research, 23(2): e14953, 2021.

Kobayashi, M., Kako, J., Kajiwara, K., Ogata, A. : Regarding: Humayra Rashid et al. (2020) Returning to work in lung cancer survivors—a multi-center cross-sectional study in Germany. Supportive Care in Cancer, 29(8): 4183-4184, 2021.

Kajiwara, K., Kako, J., Kobayashi, M., Noto, H., Ogata, A. : Met and unmet care needs of persons with dementia in-home. Geriatrics & gerontology international, 21(2): 278-279, 2021.

Kajiwara, K., Kako, J., Kobayashi, M., Noto, H., Ogata, A. : Family caregivers' distress responses to daily behavioral and psychological symptoms of dementia. International journal of geriatric psychiatry, 36(4):621, 2021

講師 西山 陽子

【論文】

Nishiyama, Y., Yamato, H., Jiang, Y.: Type and timing of exercise during lunch breaks for suppressing postprandial increases in blood glucose levels in workers. Journal of Occupational Health, 63 (1): 2021. <https://doi.org/10.1002/1348-9585.12199>

【学会発表】

西山陽子, 鈴鹿綾子, 山本孝治, 中村光江: 事例研究を対象とした透析見合わせの意思決定に関する文献検討. 第 24 回日本腎不全看護学会学術集会 (示説発表), 福岡, 2021.

鈴鹿綾子, 山本孝治, 西山陽子, 中村光江: 慢性看護実習におけるオンラインと学内演習ハイブリット型実習の試み. 第 22 回日本赤十字看護学会学術集会 (示説発表), 愛知, 2021.

【学術集会委員】

第 24 回日本腎不全看護学会学術集会 (福岡市, 2021 年 11 月) 企画委員・査読委員(副委員長)

講師 山本 孝治

【論文】

山本孝治, 布谷麻耶: クロウン病患者のセルフケアに関する文献検討—国内外の文献を対象にした検討一. 日本慢性看護学会誌, 15(1): 1-11, 2021.

山本孝治: 老年期クローン病患者の療養生活の実際—加齢による影響, 心理的变化, ニーズに焦点をあてた分析—. 日本看護研究学会雑誌, 44(2): 237-249, 2021.

山本孝治, 大重育美, 苑田裕樹, 福島綾子, 姫野稔子, 高橋清美, 田村やよひ: 災害拠点病院のない地域における ARCS モデルに基づく災害看護研修の試み. 日本赤十字看護学会誌, 21(1): 74-80, 2021.

【学会発表】

西山陽子, 鈴鹿綾子, 山本孝治, 中村光江: 事例研究を対象とした透析見合わせの意思決定に関する文献検討, 第 24 回日本腎不全看護学会学術集会 (示説発表), 福岡, 2021.

山本孝治, 布谷麻耶: クロウン病患者のセルフケアを促進するために必要となるアセスメント視点の明確化 (第 2 報), 第 47 回日本看護研究学会学術集会 (口演発表), 仙台, 2021.

鈴鹿綾子, 山本孝治, 西山陽子, 中村光江: 慢性看護実習におけるオンラインと学内演習ハイブリット型実習の試み, 第 22 回日本赤十字看護学会学術集会 (示説発表), 愛知, 2021.

Koji YAMAMOTO., Maya NUNOTANI.: Assessment perspectives of nurses required to promote self-care among patients with Crohn's disease: An initial report. 24th EAST ASIAN FORUM OF NURSING SCHOLARS, poster presentation, Manila, Philippines, April 15-16, 2021.

【研究助成】

2020 年度～2023 年度 科学研究費 (基盤研究 C)
クローン病患者のセルフケアの再構築を促進させる看護アセスメントツールの開発
研究代表者: 山本孝治 助成金額: 4,842 (千円)

2019 年度～2024 年度 ファイザー製薬医学教育プロジェクト助成 (研究分担)
炎症性腸疾患患者に対する適切な医療の提供に向けた教育プログラム
「インストラクショナルデザインを用いた IBD 外来看護専門家育成プログラムの開発」
研究代表者: 瀬戸奈津子. 研究分担者 5 名 助成金額: 7,440 (千円)

【学会委員】

日本腎不全看護学会 看護政策委員会委員 2021 年 12 月～

第 24 回日本腎不全看護学会学術集会査読者 2021 年 11 月

【学術集会委員】

第 24 回日本腎不全看護学会学術集会 (福岡市、2021 年 11 月) 企画委員・査読委員 (副委員長)

【セミナーの企画・講師、講演】

武田薬品主催、IBD 患者の両立支援シンポジウム (福岡、2021 年 7 月) 講演座長、パネルディスカッションコメンテーター

【社会活動】

[地域]

福岡県看護協会北九州 11 区地区支部役員 (書記担当) 2020 年～

福岡県看護協会施設代表者 2020 年～

助教 鈴鹿 綾子

【学会発表】

鈴鹿綾子, 山本孝治, 西山陽子, 中村光江: 慢性看護実習におけるオンラインと学内演習ハイブリット型実習の試み, 第 22 回日本赤十字看護学会学術集会 (示説発表), 愛知, 2021.

西山陽子, 鈴鹿綾子, 山本孝治, 中村光江: 事例研究を対象とした透析見合わせの意思決定に関する文献検討. 第24回日本腎不全看護学会学術集会(示説発表), 福岡, 2021.

【学術集会委員】

第24回日本腎不全看護学会学術集会(福岡市, 2021年11月)企画委員・査読委員

<ヘルスプロモーション・在宅看護>

准教授 緒方 文子

【論文】

Kohei Kajiwara, Jun Kako, Masamitsu Kobayashi, Hiroko Noto, Ayako Ogata : Caregiver bereavement outcomes in advanced cancer: associations with quality of death and patient age. Supportive Care in Cancer, 2021

Masamitsu Kobayashi, Jun Kako, Kohei Kajiwara, Ayako Ogata : Response to "Occupational rehabilitation of male breast cancer patients: Return patterns, motives, experiences, and implications-A qualitative study". European journal of cancer care, 30(4): e13445, 2021.

Masamitsu Kobayashi, Jun Kako, Kohei Kajiwara, Ayako Ogata :The effects of curative-intent cancer therapy on employment, work ability, and work limitations. Cancer, 2021

Masamitsu Kobayashi, Jun Kako, Kohei Kajiwara, Ayako Ogata : Regarding: Humayra Rashid et al. (2020) Returning to work in lung cancer survivors-a multi-center cross-sectional study in Germany. Supp Care Cancer; Published 19 November 2020. Supportive Care in Cancer, 29(8):4183-4184, 2021. doi: 10.1007/s00520-021-06007-0

Kohei Kajiwara, Jun Kako, Masamitsu Kobayashi, Hiroko Noto, Ayako Ogata : Family caregivers' distress responses to daily behavioral and psychological symptoms of dementia. International Journal of Geriatric Psychiatry, 36(4): 621-621, 2021.

【依頼原稿、報告書等】

鳩野洋子, 嶋津多恵子, 緒方文子, 岡順子, 後藤智恵, 住徳松子, 松尾和枝: あるある事例で考える 保健師のための倫理 知れば広がる個人情報活用と学会発表・7 【最終回】 倫理と保健師活動の接点はどこ?. 保健師ジャーナル, 77(7): 604-607, 2021.

住徳松子, 鳩野洋子, 松尾和枝, 岡順子, 緒方文子, 後藤智恵, 嶋津多恵子: あるある事例で考える 保健師のための倫理 知れば広がる個人情報活用と学会発表・6 企業でのメタボ対策の成果を健診データを用いて発表できる?. 保健師ジャーナル, 77(6): 522-525, 2021.

岡順子, 鳩野洋子, 後藤智恵, 嶋津多恵子, 住徳松子, 松尾和枝, 緒方文子: あるある事例で考える 保健師のための倫理 知れば広がる個人情報活用と学会発表・5 自治体間での健診データの意向には, 個人情報保護に関連する法律に反しない?. 保健師ジャーナル, 77(5): 432-436, 2021.

緒方文子, 鳩野洋子, 嶋津多恵子, 住徳松子, 松尾和枝, 後藤智江, 岡 順子, 藤野善久: あるある事例で

考える 保健師のための倫理 知れば広がる個人情報活用と学会発表・4 実習で得たデータを発表できる？. 保健師ジャーナル, 77(4): 336-339, 2021.

嶋津多恵子, 嶋野洋子, 住徳松子, 松尾和枝, 岡順子, 緒方文子, 後藤智江, 藤野善久: あるある事例で考える 保健師のための倫理 知れば広がる個人情報活用と学会発表・3 学会の倫理審査を受けるときには, 所属長の許可はいらぬ？. 保健師ジャーナル, 77(3): 238-240, 2021.

後藤智江, 松尾和枝, 嶋野洋子, 岡順子, 緒方文子, 嶋津多恵子, 住徳松子, 藤野善久: あるある事例で考える 保健師のための倫理 知れば広がる個人情報活用と学会発表・2 事業アンケートの分析結果を学術誌に投稿することはできる？. 保健師ジャーナル, 77(2): 152-156, 2021.

嶋野洋子, 岡順子, 緒方文子, 後藤智江, 嶋津多恵子, 住徳松子, 松尾和枝, 藤野善久: あるある事例で考える 保健師のための倫理 知れば広がる個人情報活用と学会発表・1 健診データを使って学会発表することはできる？. 保健師ジャーナル, 77(1): 72-74, 2021.

【競争的資金等の研究課題】

認知症高齢者の在宅介護者における介護行動の可視化手法の確立

日本学術振興会: 科学研究費補助金 基盤研究(C)

研究期間: 2021年4月～2024年3月

研究分担者

5日間連続夜勤を開始する新規採用職員の疲労・ストレス・眠気に関する縦断研究

日本学術振興会: 科学研究費補助金 基盤研究(C)

研究期間: 2019年4月～2022年3月 研究代表者: 緒方文子

【社会活動】

福岡県宗像・遠賀保健所結核の審査に関する専門部会 (2021年4月～現在)

日本公衆衛生看護学会 表彰委員会委員 (2020年6月～現在)

福岡県宗像・遠賀保健所運営協議会保健事業部会委員 (2019年4月～現在)

宗像市国民健康保険運営協議会委員 (2019年4月～現在)

准教授 西村 和美

【論文】

Satoshi Ikeda, Hisashi Eguchi, Hisanori Hiro, Kosuke Mafune, Ayako Hino, Kayoko Koga, Kazumi Nishimura, Mitsuyo Nakashima: Work engagement mediates the relationship between job resources and work-to-family positive spillover (WFPS) for home-visit nursing staff. *Environmental and Occupational Health Practice*, 2022. doi:10.1539/eohp.2021-0012-OA

Satoshi Ikeda, Hisashi Eguchi, Hisanori Hiro, Kosuke Mafune, Kayoko Koga, Kazumi Nishimura, Mitsuyo Nakashima: Work-Family Spillover, Job Demand, Job Control, and Workplace Social Support Affect the Mental Health of Home-Visit Nursing Staff. *Journal of University of Occupational and Environmental Health*, 43(1): 51-60, 2021.

George Umemoto, Shinsuke Fujioka, Yasuyuki Iwasa, Yoshie Ozaki, Kayoko Koga, Kazumi Nishimura, Yoshio Tsuboi: Impact of Progression of Parkinson's Disease on Swallowing Ability and Oral

Environment. Parkinson's Disease, 2021. doi: 10.1155/2021/5571556.

【科学研究費】

若手研究 B 2021-2025 年

研究課題：ICT を活用した女性の尿失禁予防におけるセルフケアプログラムの開発

研究代表者：西村 和美

【その他の研究費】

2020 年 2 月～2023 年

日本看護科学学会「高齢者尿失禁ケアガイドライン」SR チームメンバー

【その他】

メディカコンクール 看護師国家試験模擬テスト 在宅看護領域 (2016 年～2021 年)

【社会活動】

福岡市介護認定審査員 (2017 年～2022 年)

宗像医師会病院看護部倫理委員会院外職者 (2018 年～2021 年)

宗像市スポーツ推進審議会委員 (2019 年～2022 年)

九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会 地域・在宅看護担当代議員 (2021 年～2022 年)

2021 年 9 月 宗像医師会 在宅医療連携拠点事業室 むーみんネット

「ACP (アドバンス・ケア・プランニング) について」講師

2021 年 10 月 9 日 宗像市ルックルック講座 講師

日本看護系学会協議会主催「ケアのガイドラインにおけるシステムティックレビューの方法」企画・運営 2021 年 12 月 22 日

【国際活動】

2021 年 2 月 JICA 研修 講師

2021 年 2 月 JICA 研修 企画・運営

講師 西尾 美登里

【著書】

西尾美登里 愛すべきケアメン, 男性介護者と支援者の全国ネットワーク (2021)

看護者に期待されるものシリーズ第 3 巻 時代の流れと看護の発展, 125-128, ふくろう出版 (2021)

【論文】

田村馨, 西尾美登里: 訪問診療を行うクリニックの看護師における置き菓子の効果. 福岡大学商学論叢, 65(3.4): 1-14, 2021.

古賀佳代子, 木村裕美, 西尾美登里, 久木原博子, 池田智: 熊本地震 1 年後における就労者の精神的健康に関する研究 - 車中泊の特性と精神的健康に与える影響 -. 日本農村医学会誌, 70(2): 104-113, 2021.

西尾美登里: 妻や母を介護する高齢男性の虐待に至る状況と対処. 日本ジェンダー学会, 14(1): 1-11,

2021.

木村裕美, 西尾美登里, 古賀佳代子: 地域で生活する高齢者のうつ状態と関連要因. 日本農村医学会, 70(4): 325-333, 2021.

西尾美登里, 坂梨左織, 木村裕美, 久木原博子, 古賀佳代子, 林大悟, 大上渉, 内田直樹, 尾籠晃司: 高齢の男性における介護経験による救援力. バイオメディカル・ファジィ・システム学会, 23(2): 17-22, 2021.

【講演】

在宅での看取りに関わる看護職間の情報共有、連携の推進 福岡県看護協会 2021年9月

【社会活動】

男性介護者の料理教室活動 山口油屋福太郎共同 2015年～現在に至る

福岡市ヘルスケアラボ: イオン健康ポイントモールウォーキングプロジェクトリーダー 2017年度～現在に至る

日本看護協会福岡県支部職能委員会 委員 2018年～現在に至る

日本認知症ケア学会 副支部会長 2020年～現在に至る

福岡市保健福祉局高齢社会部認知症支援 Next meeting 2020年～現在に至る

【研究活動（競争的研究資金の獲得）】

(文部科学省科学研究費代表)

2017年～2021年度 文部科学省科学研究費 基盤研究(C) 4,500千円

(研究分担者分)

2020—2023年度 文部科学省科学研究費基盤研究(C) 総額 4,834千円 高齢者施設職員のケアの質向上のためのレジリエンストレーニングプログラムの開発 (研究代表者 久木原博子)

2018 - 2021年度 文部科学省科学研究費基盤研究(C) 総額 4,420千円 緊急に人工呼吸器を装着した患者へのコミュニケーション支援に関する国際比較 (研究代表者 緒方久美子)

2018 - 2021年度 文部科学省科学研究費基盤研究(C) 総額 4,160千円 認知症ワーキンググループのエンパワメントを高める教育支援プログラムの開発と検証 (研究代表者 坂梨左織)

助教 上野 満里

【社会活動】

2021年3月～医療法人光洋会赤間病院地域密着型サービス事業推進会議 委員

助教 鎌田 ゆき

【学会発表】

鎌田ゆき, 藤野成美, 古野貴臣: 問題行動がみられる児童・思春期の精神障がい者を対象とした訪問看護における実践内容の明確化 (第1報). 日本看護科学学会第41回学術集会, 2021.

岩本祐一, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二, 脇崎裕子, 鎌田ゆき, 村田愛: ベンゾジアゼピン系睡眠薬服用中の認知症患者に対する看護実践の明確化. 日本精神保健看護学会 第31回学術集会, 2021.

【研究費助成】

2020～2021 年度 日本赤十字九州国際看護大学奨励研究費助成研究課題：児童・思春期の患者を対象とした精神科訪問看護の実践の明確化

研究代表者：鎌田ゆき

<メンタルヘルス>

教授 高橋 清美

【論文】

山本孝治, 大重育美, 苑田裕樹, 福島綾子, 姫野稔子, 高橋清美, 田村やよひ：災害拠点病院のない地域における ARCS モデルに基づく災害看護研修の試み. 日本赤十字看護学会誌, 21(1)：74-80, 2021.

倉岡有美子, 大重育美, 姫野稔子, 高橋清美：学士課程における卒業前の看護技術演習に関する実践報告 シミュレーション学習に OSCE を連動させて. 日本赤十字看護学会, 21(1)：81-87, 2021.

【社会活動】

平成 26 年 4 月～ 九州・精神科食べる機能改善研究会 会長

平成 30 年 11 月～ NPO 法人ノーチラス会北九州市地方会世話人

令和元年 4 月～ NPO 法人ノーチラス会 理事

令和 2 年 4 月～ 日本口腔ケア学会評議員

准教授 石飛 マリコ

【学会発表 等】

[講演]

2021 年度 福岡県専任教員養成講習会 看護教育演習(専門領域別看護論 精神看護学) 講師

[学会発表]

ケア困難患者に対する最新セルフケアプログラムの実施と評価に関する基礎的研究. 宇佐美しおり, 遠藤恵美, 川田陽子, 竹原歩, 松橋美奈, 石飛マリコ, 山岡由実：日本看護科学学会第 41 回, 2021.

被災者兼支援者のうつ/PTSD (外傷後ストレス障害) 予防介入実践者育成訓練プログラムの開発. 石飛マリコ, 宇佐美しおり, 亀井縁, 宮崎志保, 日本看護科学学会第 41 回, 2021.

うつ/PTSD 予防介入プログラム評価質問紙開発に関する研究(1). 石飛マリコ, 宇佐美しおり, PAS セルフケアセラピィ看護学会第 4 回大会, 2021.

被災者兼支援者のうつ/PTSR 予防介入実践者育成訓練プログラムの開発 文献レビューをもとに. 石飛マリコ, 宇佐美しおり：日本精神保健看護学会学術集会・総会プログラム・抄録集 31 回, 2021.

【社会活動】

PAS セルフケアセラピィ看護学会 事務局員 2019 年 6 月 18 日～現在に至る

PAS セルフケアセラピィ看護学会 理事 2019 年 9 月 1 日～現在に至る

PAS セルフケアセラピィ看護学会第 4 回大会大会事務局長 2020 年 12 月 14 日～2021 年 9 月 5 日

PAS セルフケアセラピィ看護看護学会第 5 回大会大会企画委員 2021 年 12 月 17 日～2022 年 9 月 4 日

日本精神保健看護学会 災害対策委員会委員 2019年9月8日～2021年定時代議員会終結時
厚生労働委託事業 新型コロナウイルス感染症に対する障害者施設等の職員のためのサポートガイド
作成業務等一式 2020年9月4日～2021年3月31日

<クリティカルケア・災害看護>

講師 苑田 裕樹

【論文】

山本孝治, 大重育美, 苑田裕樹, 福島綾子, 姫野稔子, 高橋清美, 田村やよひ: 災害拠点病院のない地域における ARCS モデルに基づく災害看護研修の試み. 日本赤十字看護学会誌, 21 (1): 74-80, 2021.

【学会発表等】

苑田裕樹, 喜多敏博, 都竹茂樹, 鈴木克明: 外傷看護教育における学習課題分析に基づいた e ラーニング教材の設計と形成的評価, 日本教育工学会 2021 年春季全国大会 (大阪, WEB 開催), 2021 年 3 月

苑田裕樹: コロナ禍における看護大学のクリティカルケア学内実習の設計-シミュレーション教育とオンライン学習のブレンド型学内実習への代替え-, 第 13 回日本医療教授システム学会総会・学術集会(沖縄), 2021 年 3 月

後小路隆, 苑田裕樹: ブレンデッドラーニングを用いて知識の習得と自信を持たせるための学習設計～V-V ECMO 挿入介助動画の作成～, 第 13 回日本医療教授システム学会総会・学術集会 (沖縄), 2021 年 3 月

【シンポジウム・教育講演 他】

苑田裕樹: 外傷看護教育における将来構想 -これからの時代を見据えた外傷教育の構想と挑戦-: 交流会, 第 23 回日本救急看護学会学術集会(札幌、WEB 開催), 2021 年 10 月

苑田裕樹: JNTEC コース設計とこれからの時代を見据えた外傷教育のチャレンジ: 教育講演 (看護部会), 第 122 回近畿救急医学研究会学術集会 (大阪), 2021 年 7 月

苑田裕樹: New Normal～模索する救急医療 -大学 (本学) における救急看護教育のこれからのを考える -: 合同シンポジウム, 第 122 回近畿救急医学研究会学術集会 (大阪), 2021 年 7 月

【社会活動】

2021 年 9 月～ 日本救急看護学会 外傷委員会委員長
2018 年～ 福岡赤十字病院 看護師特定行為研修実習外部評価員
2015 年 10 月～ 日本救急看護学会 外傷委員会 (JNTEC コース質運営管理担当委員)
2014 年～ 旭川医科大学病院 急変対応シミュレーションコース講師
2014 年～ ニプロ株式会社 iMEP 急変対応シミュレーションコース講師
2013 年～ 救急ケア開発研究所 急変対応シミュレーション研修コース・ID
(研修設計) セミナー・院内災害対応シミュレーションコース・
院内緊急度判定コース・脳神経看護セミナー等 プランナー/講師
2012 年～ メディカコンクール 看護師国家試験模擬テスト 成人看護学領域

【研究活動（競争的研究資金の獲得）】

2019年度～2021年度 科学研究費（基盤研究B）「教育で防ぎ得た重大事故を防ぐ能動的LMSを軸とする安全教育システムの実現」研究代表者：喜多 敏博

助成金額：17,160千円（直接経費；13,200千円、間接経費；3,960千円）

助教 福島 綾子

【論文】

大重育美，福島綾子：看護学生の実習前後における道徳的感受性と倫理的葛藤の比較，日本赤十字九州国際看護大学紀要，19：7-15，2021.

山本孝治，大重育美，苑田裕樹，福島綾子，姫野稔子，高橋清美，田村やよひ：災害拠点病院のない地域におけるARCSモデルに基づく災害看護研修の試み，日本赤十字看護学会誌，21(1)：74-80，2021.

【学会発表】

福島綾子，外傷診療と最新の知見（頭部外傷編）と家族看護を深掘りする！「外傷看護における終末期ケアのあり方、目指すべき方向性を考える」，第23回日本救急看護学会学術集会 教育講演，2021.

【社会活動】

2021年10月～ 日本看護協会インターネット配信研修（オンデマンド）「生命危機の場面における倫理的実践」講師

2021年9月～ 学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 「看護学概論」講師

2021年6月～ 第18回日本クリティカルケア看護学会学術集会 実行委員

助教 鴨川 めぐみ

【学会発表】

鴨川めぐみ：糖尿病療養指導士育成に向けた長期的教育の一考察，第59回日本糖尿病九州地方会（沖縄），2021年11月

<国際看護>

教授 小川 里美

【論文】

小川里美：災害マネジメントに活かす島しょのコミュニティレジリエンスの創出：福岡県西方沖地震で被災した玄界島の事例より，日本災害看護学会誌，22(3)：63-74，2021.

【学会発表】

Satomi Ogawa：Nurse managers' perception of effectiveness and problems by introducing nursing career development ladder system in Indonesia. ICN Congress 2021. (The virtual meeting place of the world's nurses; e-poster presentation).2021.